



山田こうじです！

2020年10月4日

NO.244

事務所：西院上花田町36-3

電話：222-3728

携帯：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

消費税の減税！中小・小規模事業者に売り上げ減少補填を！

規模も対象も
限定的な支援



日本共産党京都市議会
員団は、9月25日、第
6次目のコロナ対策を申
し入れ、今回は「経済対
策」についての申し入れ
しました。

伝統産業、ものづくり
等の中小企業や、商店街
の疲弊は深刻です。

国の持続化給付金・家
賃支援給付金については
多くの中小企業が要件を
満たさず支援されません
京都の経済と、市民の暮
らしを支えているこうし
た事業者の減収補填や固
定費の支援が求められて
います。

「京都市中小企業等緊

急支援補助金」は感染症
対策や新たな生活様式に
対応した新規事業などに
限られた支援でした。予
算規模が少なく、短い募
集期間でしたが、多くの
事業者が申請し、予算が
不足する事態となり、補
正予算が組まれました。

「伝統産業作り手支援
事業・商店街緊急支援補
助金」も当初2億円の予
算でしたが、補正後4億
7千万円と倍以上の規模
となりました。

必ずしも、事業者の実
態に即したものではありません
でしたが「喉から手が出る
ほど」支援を求めている
ことを反映しているの
ではないでしょうか。

「デリバリー支援は
「出前館」支援？」

一方、新型コロナウイ
ルス感染症の影響を受け
た、市民及び飲食店を支
援するため、「飲食店テ
リバリーサービス利用促
進キャンペーン」が実施
され、「出前館」登録手
数料、サービス利用料の
全額免除、配達手数料の
一部助成が実施されまし
た。キャンペーン期間中

の新規登録店舗数は98
件にとどまり、補正予算
に不要分が発生した。

配達手数料助成は30
%の手数料の僅か7%で
しかなく、もともと利益
率が30%程しかない、
飲食店にとってはほとん
どメリットがありません。

ネットを通じてデリバ
リー活用では、知名度の
低い個人の飲食店より、
名前の通った全国展開の
大手に注文が集中し、逆
に個人の飲食店の注文が
奪われています。

ひとり暮らしのお年寄
りや、医療機関等のヘル
パーさんからの依頼され
たとえ一つでも出前され
ている個人の飲食店こそ
支援することが大切です。

自民党からも「一番恩
恵を受けたのは出前館」
との指摘もありました。

「デリバリー支援より
安心して外食できる対策
を」といった声をお聞き
しました。

支援策が的外れになる
のは、事業者の実態を掴
んでいないからです。全
ての中小企業者の声を聴
き、特定の業界等の支援
ではなく、すべての事業
者支援を！



暮らしを守る予算カットするな！

9月25日のお昼休み、
日本共産党京都市議会
員団で河原町三条で「行財
政審議会」の中止を求める
宣伝を行いました。
「敬老乗車証」「保育所
運営交付金」「国民健康保
険料」等、暮らし・健康を
守る予算をカットは許せま
せん。

急ぎの相談会

第185回 暮らしのなんでも相談会

暮らしにかかわるどんなことでも…
金融・債務の整理・相続・税金・労働・医
療・健康保険料の支払い・地域要望等、ど
んなことでも結構です。

10月10日（土）午後1時半～3時

会場 安井後援会事務所（安井小学校前）

主催 日本共産党市会議員 山田こうじ事務所

佐々木 義人 801-9379

山田こうじです！

NO. 236

まちとおきに
地域をまわり、様々な要
望をお聞きしてきました。
安井小学校正門前の葛野
大路の歩道は、街路樹が茂
り「夜間は暗くて怖い」と
声を聴き、2カ所の電柱に
街灯を設置していただきま
した。

山ノ内と安井学区では2
カ所のカーブミラーの設置
が出来ました。

花園学区の方からは、住
宅街での元工場の解体工事
に係り、騒音やほこりが発
生していると聞き、京
都市の担当部局から、「防
塵・防音対策」を直接指導
していただきました。

太秦ライフの西側の街灯
の要望もありましたが、
「人が通る通路ではなく、
河川敷で街頭設置は出来ま
せん」とのことでした。

引き続き、地域の要望に
しっかり応えるよう頑張り
ます。

